

まちの“好き”を見つけてカタチにしよう

こしがや魅力共感 まちづくり ワークショップ

- 開催レポート -

水遊都市 越谷市地域魅力創造事業

第1回

越谷市の魅力を見つけよう

日時 12月17日(水) 18:30～21:00

会場 市役所エントランス棟3階会議室

第2回

魅力を伝えるマップを作ろう

日時 令和8年1月31日(土) 13:30～16:00

会場 水辺のまちづくり館 大会議室 (レイクタウン4-1-4)

開催概要

第1回

越谷市の魅力を見つけよう

- 日時** 12月17日(水) 18:30~21:00
- 会場** 市役所エントランス棟3階会議室
- 参加者** 越谷市に関わりやゆかりがある18歳以上の方 12名
- 内容** まちの「魅力」の洗い出し
「伝えたい相手」の選定
「魅力」と「伝えたい相手」の組み合わせ



第2回

魅力を伝えるマップを作ろう

- 日時** 令和8年1月31日(土) 13:30~16:00
- 会場** 水辺のまちづくり館 大会議室 (レイクタウン4-1-4)
- 参加者** 越谷市に関わりやゆかりがある18歳以上の方 16名
- 内容** 「魅力」のマッピング
「イチ推しポイント」の定義
印象的な「キャッチコピー」の開発



ワークショップの目的

「まちの価値は、 まちに関わる市民がつくる」

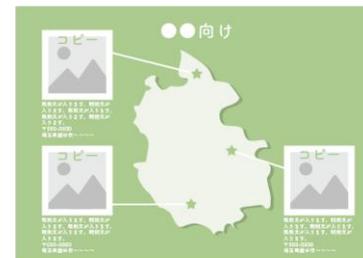
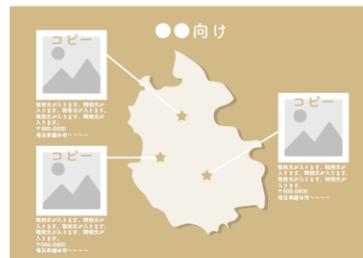
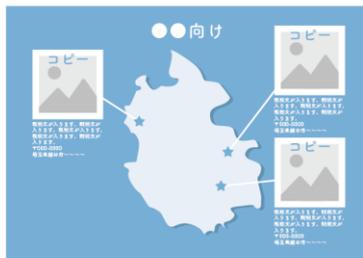
市民のみなさんが越谷市での暮らしや
関わりの中で感じているお気に入りや発見を
共感とともに発信することを通じて
まちをより身近に感じ、好きになってもらうことで、
市民とまちとの関係を増やし、深めることを
目的としています。

ワークショップの最終的な成果物

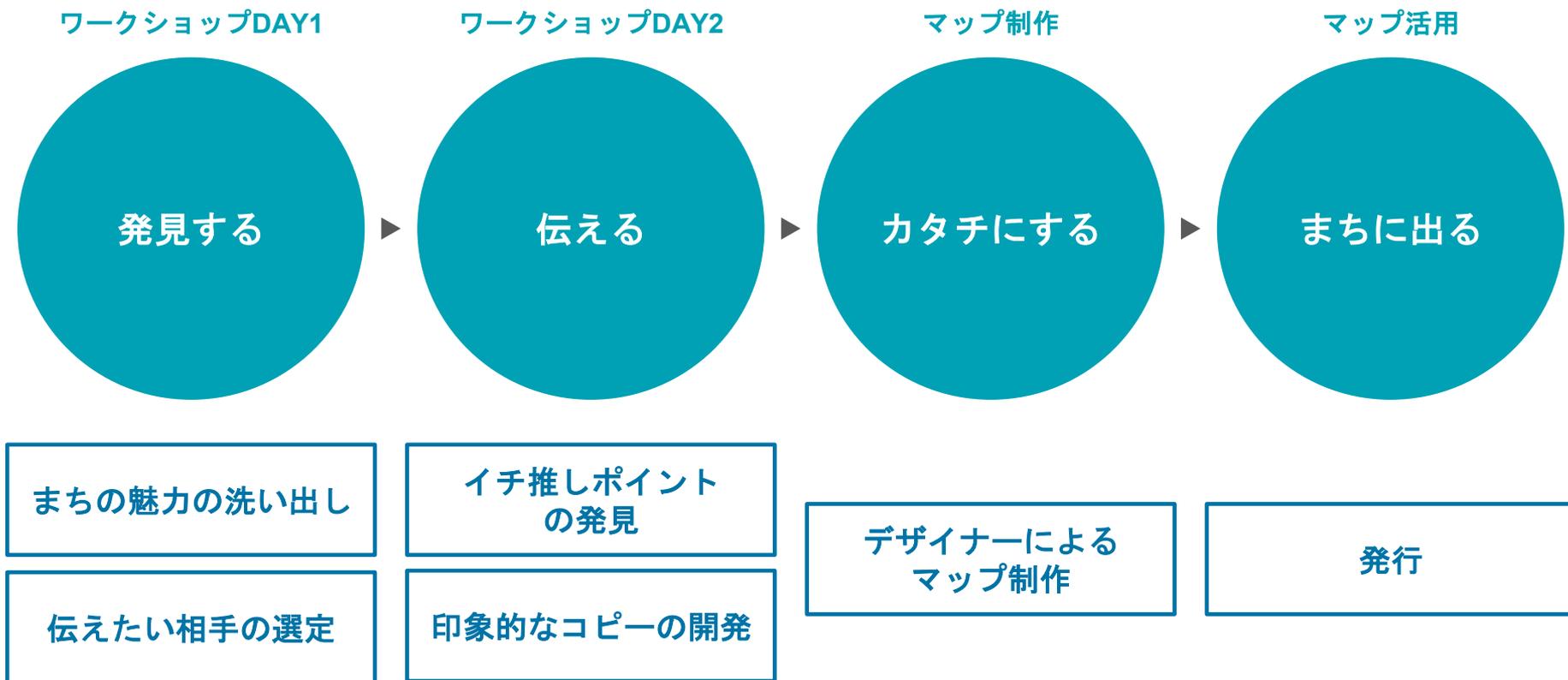
こしがや魅力共感マップ

市民の皆さんがふだんの生活や好きな時間の中で感じる
越谷の魅力を集めたマップを制作します。

発見した「越谷ってちょっといいかも」を形にして
共感とともに市内外に発信していきます。



ワークショップの流れ



ステップ1：まちの“魅力”の洗い出し

最初のワークは、まちの魅力をとにかく書き出すこと。
参加者の「好きなもの」、「もっと広めたいこと」など一斉に書き出した付箋を、
項目ごとに模造紙に貼り出していきます。

他の参加者が書き出したアイデアを見て、
「そこ素敵だよね！」と共感したり
「あれもあった！」と魅力を追加したり。
次第に付箋が増え、模造紙がカラフルに埋まっていきます。



ステップ2：“誰に届けたいか”を考える

次に考えたのは、「越谷ってちょっといいかも」と感じてもらいたい人物像。

「越谷にまだ興味がない人」を想像しながら、年齢や職業、性格、休日の過ごし方まで具体的に設定していきます。

グループ内で共有し、「この人はきっとこんな性格だよね」と想像を膨らませながらターゲットを1人に絞りました。

▼各グループのターゲット

ターゲットシート | こしがや魅力共感 まちづくりワークショップ Aグループ

	<p>詳細情報</p> <p>趣味: YouTube、マンガ</p> <p>性格: INTP、ひねくれてる</p>
<p>氏名: 園部光莉</p> <p>年齢: 16 性別: 女性</p>	<p>価値観: お金は「体銭」へ、自分らしさ、効率重視</p>
<p>基本情報</p> <p>職業: 高校1年生</p>	<p>休日の過ごし方: 友達とカフェに行く</p>
<p>収入: なし</p>	<p>まちへの関わり</p> <p>まちへの関心・関わり方: 越谷生まれ越谷育ち</p>
<p>出身地: 越谷(出身): 越谷</p>	<p>まちに対する興味・関心: 越谷にいながらも外食はチェーン店のみ</p>
<p>家族構成: 父、母、姉</p>	

ターゲットシート | こしがや魅力共感 まちづくりワークショップ Bグループ

	<p>詳細情報</p> <p>趣味: アウトドアよりインドア、絵画鑑賞、室内で静かに過ごす</p> <p>性格: 他人にお花を送ったりする、優しい、気遣いできる、美意識高い</p>
<p>氏名: 夢野星子</p> <p>年齢: 30~40代 性別: 女性</p>	<p>価値観: 子供に良い体積をさせたい 生物に対する関心、自然共生、デジタル以外一掃に</p>
<p>基本情報</p> <p>職業: 子育て中の母親</p>	<p>休日の過ごし方: 毎日忙しく心の余裕がない 遠出する体力・気力・お金はない</p>
<p>収入: 共働きorワンオペ 400~600万円くらい</p>	<p>まちへの関わり</p> <p>まちへの関心・関わり方: 子育てサークル等に参加することはあるが周りとの違いがまだ少ない 少し孤独を感じている</p>
<p>出身地: 越谷(出身)</p>	<p>まちに対する興味・関心: 越谷に結婚後移住してきた、夫の家族の近く少し気疲れ ほっとできる場所、お金や手間など負担なく、友人もほしい</p>
<p>家族構成: 夫、子供(0歳~幼稚園くらい)</p>	

ターゲットシート | こしがや魅力共感 まちづくりワークショップ Cグループ

	<p>詳細情報</p> <p>趣味: 音楽、カフェ巡り</p> <p>性格: 奥手だけどしっかり者</p>
<p>氏名: しらとりれいこ</p> <p>年齢: 17歳 性別: 女性</p>	<p>価値観: 好きなものに確固</p>
<p>基本情報</p> <p>職業: 学生</p>	<p>休日の過ごし方: 部活、カフェ巡り</p>
<p>収入: アルバイト</p>	<p>まちへの関わり</p> <p>まちへの関心・関わり方: 叡明高校 吹奏楽部</p>
<p>出身地: 越谷地 杉戸町</p>	<p>まちに対する興味・関心: 部活終わりにレイクタウンでショッピング</p>
<p>家族構成: 父、母、兄</p>	

ステップ3：“この人に届けたい魅力”を選ぶ

次におこなったのは魅力の選定。

最初に書き出したたくさんの付箋の中から、

「この人ならきっと気に入る」と思えるものを選び出していきます。

「この人はアウトドアが好きだから、ここは外せない」

「案外こっちの魅力も気に入ってくれるかも...？」

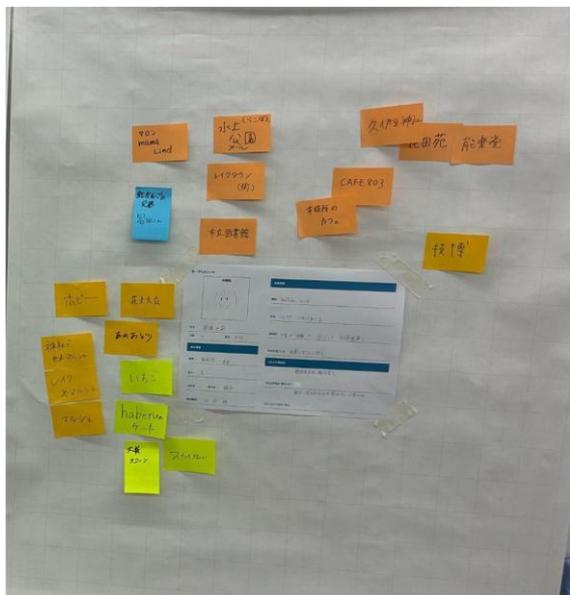
模造紙に貼られていた付箋を、ターゲットシートの周りへと移動させ
まちな魅力を“誰かの視点”で再構築していきました。



ステップ3：“この人に届けたい魅力”を選ぶ

各グループのターゲットを想像して、“その人にだからこそ届けたい”越谷の魅力が抽出されました。

▼各グループのターゲットと届けたい魅力



ステップ4：“届けたい魅力”を地図にのせる

ステップ3で選定したまちの魅力のうち、実際にマップへ掲載する魅力を10個に絞っていきます。選んだ魅力の写真を越谷市の地図にマッピング。地図を囲みながら、自然と会話が弾みます。

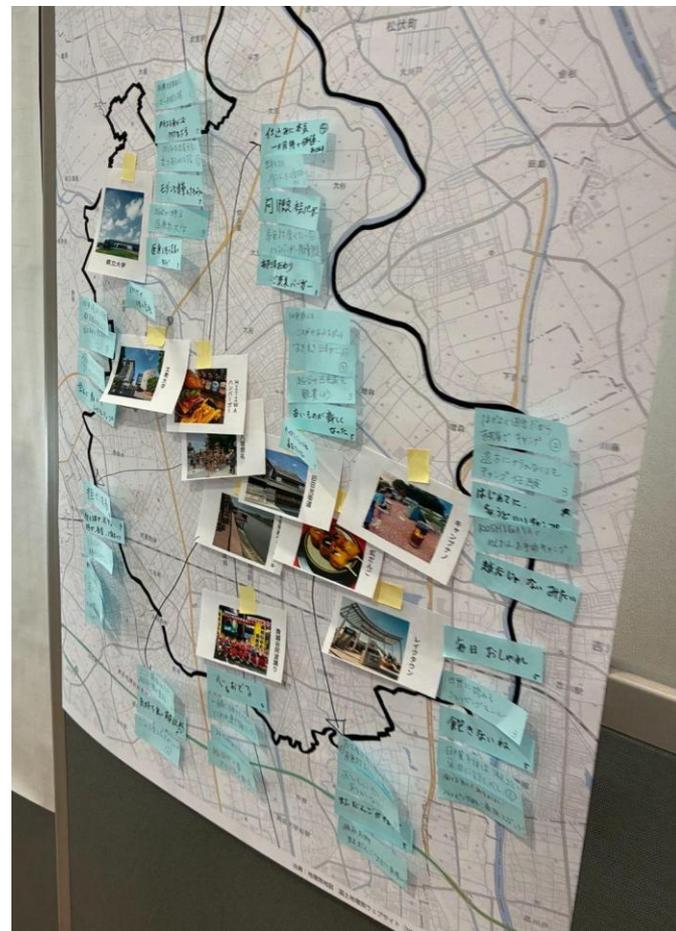
グループで和気あいあいと相談しながら進めると、地図の上に、“その人に届けたいこと”が少しずつ浮かび上がっていきます。



ステップ5：イチ推しポイントを言葉にする

選んだ魅力をさらに掘り下げます。
「どこがいい?」「なぜおすすめ?」
魅力について詳しく調べながら、
付箋にイチ推しポイントを書き出していきます。

書いた付箋を写真の周りに貼りながら、
それぞれの体験や想いを共有。同じ場所でも、
見る人によってイチ推ししたいポイントが違います。

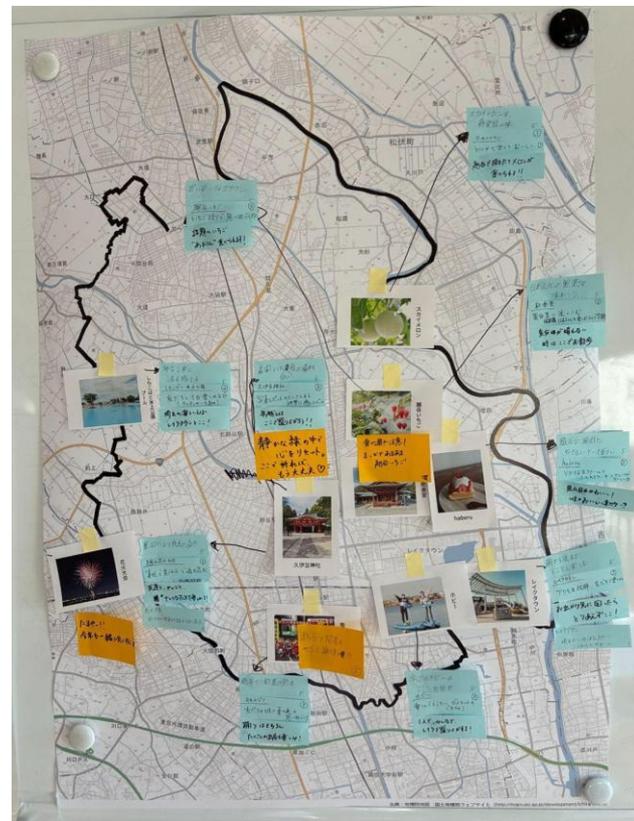


ステップ6：“イチ推し”を伝えるキャッチコピー作り

最後は魅力のキャッチコピー制作。

一人ひとりが担当する魅力を決め、言葉を磨きます。
「短くする?」「こっちのほうが伝わるかも」と試行錯誤しながら制作しブラッシュアップ。

どのようなキャッチコピーができたのかグループで共有し、たくさんの共感の声や笑顔が生まれました。



ライブデザイン

最後にその場で始まったライブデザイン。マップに掲載する際のサムネイル風ポスターをデザイナーが作っていきます。

自分たちが考えたキャッチコピーが、目の前でデザインとして形になっていく様子に、会場は興味津々。完成すると同時に大きな拍手が起こりました。



おわりに

DAY1・DAY2で、皆さんでつくったものは、
マップそのものではなく、「まちへの関わり方」です。

この先、完成したマップを見かけたら
”このスポット、私がイチ推ししたものだ”
“このキャッチコピー、私が考えたものだ”
と、思って身の回りの方に紹介してもらえたら嬉しいです。

魅力共感マップの完成をお待ちください。